

電子複写不可

昭和二十一年十一月三十一日

独立混成第十五聯隊聯隊砲隊陣中日誌



防衛研修所図書館



七清

昭和三年一月九日

一九一四年一月九日

七清

七清

七清

一月元旦晴

山形縣中野町
新米村字胡屋

一、〇八〇〇久保田長良以下四名嘉手納渡具知地頭ニ場墾セル次官林材
料監視トシテ服務ノ爲同地頭ニ向テ出發セシム

二、〇九二〇四一機本島上空ニ飛來ノ報アリ、空襲警報發令セラル

三、〇九三〇中隊全員集合胡屋南方廣場ニ於テ四方拜遠拜式ヲ
執行ス式後中隊將兵同ニ對シ午頭ノ挨拶並ニ訓示ヲ與フ

四、一〇四〇空襲警報解除セル

五、一二〇〇中隊中野場前廣場ニ於テ決戰第四年目ノ新米ヲ迎ヘ
中隊會食ヲ實施シ明朝ナル團結ヲ大ニ發揮シ感會裡ニ一四
三〇終了ス

六、一九〇〇前田任長以下四名嘉手納渡具知地頭ニ於テ材料監視中
廣次代中隊ニ到着ス、飯田夫々所屬ノ指揮トシテハレム

七、本日障物構築作業休止セシム

八、本日ノ命令會報ナシ



一月廿三日	一、〇七、〇〇次宿村前進軍備為荷物ト同行セシ兵士等並山上等兵藤井上等兵ヲ嘉手細軍令那覇ニ向テ出展セシメ工兵隊村上少尉、指揮下ニ入ラシム
胡屋	三、〇八、三〇牧原少尉以下四十名中隊主力ヲ以テ嘉手細ニ渡具知堆頭ニ向テ出展セシメ同所ニ揚陸セル貨物ヲ駐留地胡屋ニ向搬送ス尚昨日ヨリト嘉手細堆頭ニ於テ宿村駐屯トシテ服務中ノ久留兵兵隊下四名任務終了ヨリニ付同時歸隊セシム
ノ受領	三、一六、〇〇飯原衛生上等兵ヲ以テ指揮班、鈴木小隊全員ニ及ビ、一七、〇〇牧原小隊全員ニ對シテナク等混合隊防接種ヲ實施セシム
獨逸五月命第一二八號	四、本日陣地構築作業休止セシム
	獨立混成第一五聯隊日日命令 一、二、二、二
	馬掛將校 陸軍中尉 杉浦 隆孝
	同 陸軍少尉 石井 英久
	馬掛助手 陸軍軍曹 村田 幾造

陸軍

一月廿三日	頭書ト通リ部隊馬掛將校同助手ヲ命令ス
胡屋	ニ、臨時軍馬各隊ニ配當ス
	各隊ハ岡澤大尉ノ指示ニ依リ受領スベシ
	乘馬 金智號 杉浦 中尉
	鞍馬 金大號 杉浦 隊
	同 金相號 同
	同 金銳號 同
	三、省略
	一、〇七、二五機機一機胡屋上空在リ我ハ高射砲、砲撃頻ク約二分ノ後退去セリ
	二、〇七、二七電話ヲ以テ機ハ二五機屋上空在リト報テ持ス

受領 瀧澤五月令 第一二九號	三、〇九四〇敵機被機(スラン型)四機二機ト計八機捕テ屋 上空ニ米機、讀谷山中飛行場ニ向テ急降下墜撃シテ大我高射 砲ノ咆哮短クニシテ同四十五分退去セリ 四、自一五〇〇、間越米國民學校ニ於テル野崎隊新卒宣會ニ出席ス 五、本日陸軍構築作業休止、學ヲ休養セシム 獨立混成第十五聯隊日日命令 一、島 一 二、袋 二 左 記
一月四日兩	一、各大隊獨立中隊各駐屯地ニ於テ中隊ヲスベシ 二、聯隊本部ハ九時本部事務室前ニ集合副官、指示ヲ受クベシ 四、單獨ノ軍裝略給備用トス 二、日令第一二八號第三項ハ之ヲ削除ス 一、〇八〇〇大川軍曹ヲシテ中隊事務連絡係トシテ當分ノ間牧原小隊

(納谷真・京東)

陸軍

受領 瀧澤五月令 第一三〇號	胡屋 隊長、指揮下ニ入リシ小隊ニテ起居セシム 二、自〇九〇〇、間中隊全員ヲ集合セシメ勅諭奉讀式ヲ執行ス式後 直ニ二分數退避セシム 三、〇九五五南西諸島空襲警報發令 四、一〇、一〇敵機米機ニテアラハノ機音ヲ聞キ警報多ク機影ヲ 觀察ス約五分間ヲ経過セシム 五、一、一〇〇空襲警報解除スル 六、一、一〇〇中隊警報本部ノ警報警報本部ニ本年度教育訓練 警報本部ニ對シテ指示スル 七、午後四時中隊警報本部ノ警報外ハ警報本部ニ指示スル 八、本隊警報本部ニ對シテ指示スル 獨立混成第十五聯隊命令 一、島 一 二、袋 二 一、明五時三十分前最速ヲ以テ部隊臨時官高裝踏ヲ實施ス
----------------------	---

依前左ノ通りハ爲ヤシ

各隊(井上隊ヲ除ク)踏襲工務兵全員明五ヨリ三日間毎日〇八〇〇
 越米國民學校ニ差出し馬將校ノ指示ヲ受ケスベシ

裝蹄區分ハ

五日 聯隊本部 工兵中隊

六日 第一第三大隊 速射砲中隊

七日 第二大隊 聯隊砲中隊

ト豫定ス

工務兵ハ晝食ヲ携行スマシ

二 省略

一月廿日 曇

一、〇九〇〇 鈴本牧原兩少尉山田曾長岡田重曹ヲシテ因及施設研究
 一爲九五高地附近ヲ偵察セシム

二、〇九三〇 部隊路時軍馬裝蹄ノ爲胡屋野鍛冶屋ニ赴キシヲ

陸軍

指導一、〇〇〇 第一小隊第二小隊第三小隊第四小隊ヲシテ作業指導ス

三 陣地構築業作業續行セシム 作業第十八日目

四 本日命令令會報ナシ

一月廿日 曇

胡屋

一、〇七〇〇 因及受用協同爲牧原小隊ヲシテ

二、一七〇〇 部隊路時於ルニ場産作業終了ニ付叔山麓上至
 共部ヲシテ徒歩場取ス

三 陣地構築業作業續行セシム 作業第十八日目

四 本連隊總務主任曾長ヲシテ九時至セシム

五 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

六 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

七 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

八 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

九 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

十 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

十一 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

十二 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

十三 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

十四 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

十五 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

十六 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

十七 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

十八 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

十九 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

二十 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

二十一 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

二十二 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

二十三 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

二十四 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

二十五 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

二十六 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

二十七 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

二十八 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

二十九 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

三十 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

三十一 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

三十二 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

三十三 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

三十四 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

三十五 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

三十六 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

三十七 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

三十八 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

三十九 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

四十 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

四十一 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

四十二 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

四十三 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

四十四 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

四十五 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

四十六 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

四十七 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

四十八 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

四十九 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

五十 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

五十一 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

五十二 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

五十三 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

五十四 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

五十五 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

五十六 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

五十七 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

五十八 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

五十九 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

六十 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

六十一 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

六十二 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

六十三 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

六十四 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

六十五 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

六十六 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

六十七 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

六十八 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

六十九 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

七十 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

七十一 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

七十二 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

七十三 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

七十四 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

七十五 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

七十六 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

七十七 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

七十八 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

七十九 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

八十 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

八十一 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

八十二 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

八十三 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

八十四 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

八十五 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

八十六 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

八十七 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

八十八 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

八十九 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

九十 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

九十一 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

九十二 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

九十三 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

九十四 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

九十五 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

九十六 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

九十七 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

九十八 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

九十九 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

一百 總務主任曾長 陸軍曹長 山田 次郎

獨立混成隊第五聯隊日日命令 一、〇六六



櫻浪五五命令
第三一號

一、二、三、四、五、全又省略

一月七日
胡 屋

一、〇七、三〇部隊陣馬集歸一並池島中隊陣馬三歸ラ
差出シ大湖上等兵大隊二等兵ヲテ越來國隊集林三至ニテ馬林
將校ノ指示ヲ受ケケム、一五、三〇集歸終了帰隊ス

二、〇八、〇〇中村湯上等兵以下四名ヲテ泡瀬部隊ニ材木受領時
時勤務トシテ部隊本部ニ差出シ村野軍曹ノ指示ヲ受ケケム

一七、〇〇帰隊ス

三、〇九、〇〇第三小隊陣地ニ於テ陣地構築指導並因攻砲隊ノ作業
指導ヲ行フ

四、陣地構築作業續行セシム 作業第二十日自

受領

獨立混成第二五聯隊日命令 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、一百〇一、一百〇二、一百〇三、一百〇四、一百〇五、一百〇六、一百〇七、一百〇八、一百〇九、一百一〇、一百一〇、

櫻浪五五命令
第三一號

一、省 略
二、明八日大朝奉新日三付テ證書奉讀式ヲ實施ス

陸 軍

依而左部通り心得ベシ

左 部

一、各大隊及各獨立中隊各々其駐屯地ニ於テ警備スベシ

二、聯隊本部ハ〇九、〇〇本部事務室前ニ集合シ部隊圖ヲ指示
ヲ受ケケム

獨立第一師團警備用トス

一月七日
胡 屋

一、〇七、三〇部隊陣馬集歸一並池島中隊陣馬三歸ラ
差出シ大湖上等兵大隊二等兵ヲテ越來國隊集林三至ニテ馬林
將校ノ指示ヲ受ケケム、一五、三〇集歸終了帰隊ス

二、〇八、〇〇中村湯上等兵以下四名ヲテ泡瀬部隊ニ材木受領時
時勤務トシテ部隊本部ニ差出シ村野軍曹ノ指示ヲ受ケケム

三、〇九、〇〇第三小隊陣地ニ於テ陣地構築指導並因攻砲隊ノ作業
指導ヲ行フ

四、陣地構築作業續行セシム 作業第二十日自

五、獨立混成第二五聯隊日命令 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、一百〇一、一百〇二、一百〇三、一百〇四、一百〇五、一百〇六、一百〇七、一百〇八、一百〇九、一百一〇、

六、明八日大朝奉新日三付テ證書奉讀式ヲ實施ス

<p>受領 獨逸五師命 第一三四號</p>	<p>第五三兵令建設ニ就キ協議ヲ行フ 四一三〇ヨリ陣地構築作業續行セシム 作業第三十一日 南地區隊令 第一八 旅團八國陣地區ニ於テ作業隊ヲ編成シ築城用材及薪炭生 産補給ヲ督勵ス</p>
<p>受領 獨逸五師命 第一三三號</p>	<p>二 地區隊八營混四旅作命 第二號 基十一部 兵力ヲ前項作業 隊ニ派遣シ以テ作戰準備並ニ居住施設ヲ急速ニ完成ニ資セン トス 三四五 省略</p>
<p>受領 獨逸五師命 第一三三號</p>	<p>獨立混成第五聯隊日日命令 第一八 一 全文省略</p>
<p>胡屋 一月九日雨</p>	<p>一 〇八五〇沖繩本島地區ニ對シ警戒警報發令ナリ 二 〇九〇〇空襲警報發令 駐屯地區上空ニ敵機ヲ認メテ</p>

陸軍

<p>受領 獨逸五師命 第一三四號</p>	<p>三 〇九三〇第一小隊陣地ニ赴キ作業指導ヲ行フ 四 一〇三〇空襲警報解除 本島ニ敵機未襲キ官古島未 襲 敵機離脱ニヨリ 五 龍馬金下地部隊本部ニ返納ス 六 陣地構築作業續行セシム 作業第三十二日 獨立混成第五聯隊日日命令 第一九</p>
<p>受領 獨逸五師命 第一三四號</p>	<p>一 一月十日ヨリ越來村西原ノクラニ於テ被服修理ヲ督勵 スニ付各隊被服係ハ要修理品ヲ洗濯手入等ヲ完全ニシ布 片 縫製及及氏名ヲ明記シ上直接修理工場ニ差出スベシ 南進出隊六球第八八二部隊福井隊(野戰貨物廠)ニ連 絡ノコト</p>



一月十日晴	一、五、三〇、杉山上等兵本部所渡入地より自動貨車にて到着ス
胡屋	依而枚原小隊長、指揮下ニ入ラシム
	二、陣地構築作業繼續行セシム 作業第三十二日目
	三、本日命令、會報ナシ
一月十一日晴	一、一三、〇〇、聯隊本部ニ至リ部隊長より比島、近況ト諸注意訓示ヲ受テ
胡屋	二、一三、〇〇、枚原少尉ヲシテ屋宜ニ於ケル駐在地會報ニ出席セシム
	三、一九、〇〇、下士官以上中隊幹部全員ヲ隊長宿舍ニ集合セシメ比島、近況、敵狀判斷、決心、處置ニ付教育ヲ行ヒ、部隊長諸注意訓示ヲ説明シ迅速ナル陣地構築及補佐道ノ完遂ヲ期セシム
	四、陣地構築作業繼續行セシム 作業第三十四日目
	五、本日命令、會報ナシ

陸軍

一月十日星	一、一三、〇〇、金久保上等兵以下四名ヲ聯隊本部ニ到ラシメ馬具三個受領セシム
胡屋	二、陣地構築作業繼續行セシム 作業第三十五日目
受領	三、南地區隊命令 一、一三、〇〇、
一月十一日	一、地區隊八員乗ニ配布セシ對戰車肉迫攻撃手本直間計畫ニ基キ對戰車肉迫攻撃ヲ實施シテ教育訓練ニ劃期的向上ヲ期セントス
受領	二、南地區隊命令 一、一三、〇〇、
一月十二日	一、旅團八對空艇戰術ニ關スル普及教育ヲ實施ス
	二、地區隊八對空艇戰術ノ普及教育補助官並ニ車中員ハトシテ參加セシメテ地區隊戰力ノ充實ニ資セントス
	三、省略
	四、岡澤大尉及大隊副官各中隊長ハ前項教育ニ任スベシ

<p>受領 獨立混成第五聯隊命令 第一二二〇〇 袋</p>	<p>五、六省 略</p>
<p>受領 獨立混成第五聯隊命令 第一二二〇〇 袋</p>	<p>一、旅團八軍需品ノ管理補給並ニ現地自活施設ノ補充整 化ス</p>
<p>受領 獨立混成第五聯隊命令 第一二二〇〇 袋</p>	<p>二、聯隊八獨混四四旅作命令第三號ニ基キ一月十五日一四〇〇道ニ 所要ノ兵力ヲ旅團司令部ニ差出シ先任主計將校ノ指揮下 ニ服務セシメトス</p>
<p>受領 獨立混成第五聯隊命令 第一二二〇〇 袋</p>	<p>三、省 略</p>
<p>受領 獨立混成第五聯隊命令 第一二二〇〇 袋</p>	<p>南地區區隊命令 第一二二〇〇 袋</p>
<p>受領 獨立混成第五聯隊命令 第一二二〇〇 袋</p>	<p>一、地區隊ハ山部隊ノ協定ニ基キ 現在山部隊ニ於テ宇久 田附近ニ集積セル陣地構築用材木ヲ速ニ各隊擔任地 一區ニ招致セントス</p>
<p>受領 獨立混成第五聯隊命令 第一二二〇〇 袋</p>	<p>二、省 略</p>
<p>受領 獨立混成第五聯隊命令 第一二二〇〇 袋</p>	<p>三、各隊長ハ前項資材輸送率領者トシテ村上少尉ヲ要求</p>

(陸軍部・支隊)

<p>受領 獨立混成第五聯隊命令 第一二二〇〇 袋</p>	<p>四、省 略</p>
<p>受領 獨立混成第五聯隊命令 第一二二〇〇 袋</p>	<p>一、南地區區隊命令 第一二二〇〇 袋</p>
<p>受領 獨立混成第五聯隊命令 第一二二〇〇 袋</p>	<p>一、軍八一月十五日ヨリ五日間、豫定ヲ以テ兵器修移動修理班 ヲ地區隊ニ派遣ス</p>
<p>受領 獨立混成第五聯隊命令 第一二二〇〇 袋</p>	<p>二、地區隊ハ速ニ兵器(銃器)ヲ加修シ整備ノ完壁ヲ期セントス</p>
<p>受領 獨立混成第五聯隊命令 第一二二〇〇 袋</p>	<p>三、各隊長ハ兵器検査ノ結果ニ基キ要修理兵器ヲ取纏メ十四日 一三〇〇道ニ兵器検査員ニ差出スベシ</p>
<p>受領 獨立混成第五聯隊命令 第一二二〇〇 袋</p>	<p>四、五、六、省 略</p>
<p>受領 獨立混成第五聯隊命令 第一二二〇〇 袋</p>	<p>獨立混成第五聯隊日日命令 第一二二〇〇 袋</p>
<p>會 報 第一二二〇〇 袋</p>	<p>一、將校以下全員左記ノ通り、赤痢預防接種ヲ實施ス</p>

陸軍部

本表入

一月十二日 第二回	北村隊、杉浦隊(除牧原小隊)
一月十三日 同	本部、古川隊、牧原小隊
一月十八日 第三回	北村隊、杉浦隊(除牧原小隊)
一月十九日 同	本部、古川隊、牧原小隊
場所	何レモ各隊事務室前
開始	十六時
各大隊八大隊附軍醫計畫實施スベシ	
睦鄰部隊ニA型ハラチナスノ發生ス	嘉手納附近ニ無用者ハ絶對ニ立寄リカラス
一月十三日曇	一、七、七、高橋、藤井及及坂上等兵八机不受領ノ爲、宇田國民學校ニ向テ出發セシメ、工兵中隊村上少尉指示ヲウケシム
胡屋	一八、〇、〇帰隊ス
	二、一、三、〇、〇山田曹長ヲシテ駐屯地會報ニ出席セシム

(續前頁・官報)

陸軍

續

受領	三、本週週番勤務左記ノ者ヲ服務セシム 週番士官 陸軍軍曹 岡田 好雄
受領	四、陣地構築作業續行セシム 作業第二十六日目 獨立混成第五聯隊日日命令 一、一、三、 一、省 略
	二、陸軍兵長 吉岡 辰雄 陸軍上等兵 八木 岩雄
受領	右事務連絡ノ爲本十三日即日帰隊、豫定ヲ以テ那覇中ニ出張ヲ命ズ
	會 報 一、一、三、
	一、此處飛行場ニ於テ左記ノ通り爆破作業實施セラレタルニ付承知スベシ
	左 部
	上毎日 十二時ヨリ十三時迄 十七時ヨリ十八時迄

一月十四日	一、各隊八端上靴、修理品ヲ布片等ニテ部隊履及名ヲ明記 ノ上十五日十五時迄ニ部隊本部ノ經理室ニ差出ス ノト 一、〇七、〇八、〇九、同日同様、高橋上等兵以下三名ヲテ宇久田國民學校 二、至ラシメ村上小尉、指示ヲウケシム。一七、三〇、階隊ス 三、一〇、二五、胡屋俱樂部ニ於テ精神訓話(御勅諭忠節ノ項)ヲ宣貫 施ス 三、午後三時、中隊半数外出シテ許可シ、休養セシム 四、陣地構築作業休止セシム
胡屋	一、南地區隊命令 一、一四、一〇、〇 長 察
受領	一、地區隊本部所屬ノ地附近ニテ材料諸種材ヲ前送ニ在リテ シ部隊ノ追及ニ伴ヒ新ニ二部ノ兵力ヲ渡入地ニ派遣シ製材作業 ヲ續行セントス 二、三四、五、省略

(陸軍省・官報)

受領	獨立混成第五聯隊命令 一、一四、一〇、〇 長 察
受領	一、聯隊本部ノ彈藥ヲ旅團ニ返却セントス 二、各隊八日量ニ示セル彈藥貯蔵部ヲ檢査シ其ノ自隊ニ於テ保有スベ キ彈藥ヲ整理シ過剩ナル彈藥ヲ兵隊委員ニ交付スベシ 三、省略
受領	南地區隊命令 一、一四、一〇、〇 長 察
受領	一、地區隊八系江ニ前送セル陣地構築材種及施設用資材ヲ速 ニ各隊擔任陣地内ニ招致セントス 二、省略
受領	三、各隊長ハ前項資材前送率領トシテ左部人員ヲ毎日〇八、〇〇 桑江驛ニ差出シ石川准尉ヲ指揮下ニ服務セシムベシ 左 部 十五日 聯隊砲 兵三 工 兵 兵四

陸軍

通信 兵三

十六日 聯隊砲 兵五

速射砲 兵五

工兵 兵五

通信 下士官一、兵二

十七日 第一大隊 兵一〇

工兵 兵一〇

受領
獨立混成第二五聯隊日日命令 一、四

獨立混成第二五聯隊日日命令 一、三、全文省略

受領
獨立混成第二五聯隊日日命令 一、四

獨立混成第二五聯隊日日命令 全文省略

一月十五日曼 一、七、〇、藤井、石渡及松山上等兵ヲシテ山内前牧原小隊ニ出

發築城資材受領為桑江驛ニ至ラシメ工兵中隊ヲ派

陸軍

射、指不ヲ受ケシム

一、七、〇、高橋、日野及粕谷各上等兵ヲシテ大塚^(傍)受領ノ為宇久

田國民學校ニ到ラシメ工兵中隊ノ村上少尉指揮下ニ令ラシム

三、〇七、〇日朝点呼後胡屋俱樂部並前ニ於テ赤瀬原防壕種^(第二回)

ヲ實施セシム

四、陣地構築作業續行セシム 作業第三十七日

獨立混成第二五聯隊日日命令 一、五

一、二、省略

三、陸軍主計伍長 福光 小市

陸軍一等兵 八木 岩雄

事務連絡為明十六日ヲ以テ泊豫定ヲ以テ本部町ニ出張ヲ命ズ

一月十六日曼 一、七、〇、牧原小隊ヲ藤井上等兵以下五名ヲ差出シ桑江驛ニ

至ラシメ工兵中隊、新井准尉ヲ指揮下築城用資材ヲ受領セ

一月十六日曼 胡屋

七浦

陸軍

受領
一月十五日曼 第一三八號

獨立混成第二五聯隊日日命令 一、五

一、二、省略

三、陸軍主計伍長 福光 小市

陸軍一等兵 八木 岩雄

事務連絡為明十六日ヲ以テ泊豫定ヲ以テ本部町ニ出張ヲ命ズ

一月十六日曼 一、七、〇、牧原小隊ヲ藤井上等兵以下五名ヲ差出シ桑江驛ニ

至ラシメ工兵中隊、新井准尉ヲ指揮下築城用資材ヲ受領セ

シム	ニ、ロ七、ロ、高橋上等兵以下三名宇久田國民學校ニ差出シ村上少尉ノ指示ノ下、次木ヲ受領セシム 一、六、ロ、帰隊ス
三、陣地構築作業續行セシム 作業第三十八日目	
四、本日ノ命令會報ナシ	
一月十七日曇	一、陣地構築作業續行セシム 作業第二十九日目
胡屋	獨立混成第五聯隊日日命令 一、一七、一七、
受領	一、全文省略 會 報 一、一七、一七、
櫻江五月命 第一三九號	一、一月八日配布セル對戰車因薄攻撃ヲ查閱實施計畫中一部ヲ左、通り変更ス
受領	第四項補助官ニ井上少尉ヲ追加シ、第七項大隊長ヲ所見ハ之ヲ削除ス

陸軍

一月十九日 晴	一、一三、ロ、本都町渡入地ヨリ船船ニヨリ中村二郎上等兵喜喜手組ニ到着
胡屋	二、一三、ロ、大川軍曹以下五名船船ニヨリ到着セル資材揚陸作業ノ爲喜喜手組ニ向テ出立セシム 一、八、ロ、帰隊ス
三、土城軍曹ヲシテ本日ヨリ中隊功績係トシテ執務セシムル爲中隊事務室宿舍ニ起居セシム	
四、陣地構築作業續行セシム 作業第三十一日目	
受領	一、一五、一、二、ロ、
南地區隊命令	一、一五、一、二、ロ、
一、軍八對戰車築城及爆藥戰闘ニ關スル普及教育ヲ實施ス	
二、三、小省略	
受領	南地區隊命令 一、一五、一、二、ロ、

第五作命
第一一號

一 輸送船平運丸(五〇噸)八本十九日二四〇〇渡具知埠頭入港ス
二 地區隊八所要ノ兵力ヲ差出シ短切揚塔ヲ實施スルト共ニ速ニ各
隊擔任海地内ニ前送セントス

三 石井少尉ハ渡久地ヨリノ追及兵力及左部人員ヲ併セ指揮シ前項
資料揚陸並ニ前送ニ任ズベシ

四 各隊長ハ左部人員ヲ差出シ石井少尉ヲ指揮下ニ服務セシムベシ
五 少省 略

受領

第五作命
第一二號

上南地區隊命令

一、一九一四
島 察

一 旅團八軍ノ國頭上支隊ノ糧秣輸送ヲ援助ス

二 地區隊八獨混四旅作命第六號ニ基キ所要ノ兵力ヲ差出シ前項
作業ヲ援助セントス

三 四 少省 略

受領

第五作命
第一四〇號

獨立混成第二五聯隊日日命令

一、一九
島 察

一 二 全文省略

陸軍

月十日晴

一〇九三〇中隊主力ハ標高九五高地附近ニ於テ對敵車肉攻受

相屋

關東軍遺棄ヲ官報ス

二 一六〇〇中隊上等兵本部ヨリ糧秣運送所添ヲ爲出隊ニ
到着ス 秋原小隊ニ復帰セシム

三 一八〇〇鈴木少尉以下三十三名部隊遺棄ニ基キ遺棄作業ヲ爲
手續ニ向テ自動付車ヲ出發セシム 二三四〇海隊ス

四 二部ヲ以テ海地遺棄作業續行セシム 作業第三十二日
五 本週週番勤務左部者ヲ廢務セシム

總番士官 佐軍少尉 鈴木 清

上南地區隊命令

一、二〇一四
島 察

一 二 全文省略

南地區隊命令

一、二〇一七
島 察

一 地區隊八渡具知ニ前送セシ戰關資料ヲ山部隊自動付車ヲ

利用シ速ニ各隊機在陣地内ニ前進セントス

ニ發木少尉八左部人員ヲ指揮シ山部隊未本由村ト連絡シ前項戰
闘資料前進ニ任スヤシ

左、部

本部 村野軍曹 村田軍曹

I 兵 三〇

聯隊砲 兵 二〇

一月五日 晴

胡 屋

一、一〇三五 敵機發報機令ナリ

二、一一三〇 空襲機發報機令ナリ

三、一一五〇 敵機ニ胡屋上空ニ飛來シ諸谷山方面ニ向フ。

四、一一三五 空襲機發報機解除

五、午前中陣地構築作業ヲ行ハシメ、午前十中隊半数外出ヲ許サズ

六、本日の命令會報ナシ

陸 軍

一月五日 晴

胡 屋

一、一〇六五 〇 美田方面より北西方面ニ向テ敵機約三機編隊ヲ以テ

來襲ス。既ニ此時形勢方面上空ニ我が高射砲ノ咆哮聲ヲ

ナリ、トセシメ、岡田軍曹及上日野上等兵等、部隊機關指

揮所ニ差出シ命令受領並ニ傳令トシテ解散カセシム。

猶公用行李等ニ重要書類ヲ收納シ附近ノ壕ニ取敢テ退避セシ

メ中隊全員直ニ其陣地ニシテ待機セシム。

〇八、三〇 第二波、〇八、三五 第三波、一一、〇〇 第四波、一一、四〇 第五

波、一一、三五 第六波、一四、五〇 第七波、波狀來襲、津野堅島

泡瀬、高野子、細谷山、地点ニ對シ砲撃ニ天覆爆撃ヲシ來

ル、一八、三〇 吹巻機發報機解除、一九、三五 再び空襲機發報機

令ナリ、二〇、三〇 同機發報機解除

ニ、空襲下一部陣地構築ヲ實施セシメ、他ハ掩蓋内ヲ射撃ス

綜合教育ヲ實施ス

陸軍省

受領
第五五號
第一五號

南地区區隊命令

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

一、敵大編隊油總本島に進攻中ニシテ、六三、五油總本島全地
區空襲攻撃準備命令セラル

二、地区區隊八連ニ對空戰備ヲ白丸整セントス

三、各隊八直チニ乙號戰備ニ移行シ、當時情勢即急ノ態勢
ニテ、陣地構築作業ヲ續行スベシ

四、省略

受領
第五五號
第一六號

南地区區隊命令

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

一、本朝來報拘ニ攻撃セル敵機ハ、獨近海ニ在ルモノ、如ク情
勢推移ハ豫斷ヲ許サズ

二、地区區隊ハ本夜對空對海上警戒ヲ至嚴ナラシメ、夜ヲ徹
シ明チ三日天明以降ハ戰闘ヲ準備セントス

三、各隊ハ本夜對空對海上警戒ヲ至嚴ナラシメ、情勢ニ即急
スル態勢ヲ以テ、明チ三日天明以降ハ戰闘ヲ準備スベシ

陸軍

四五、六、省略略

七、各隊ハ明チ三日黎明以後ハ對空警戒ニ遺憾ナカラシムベシ

八、予ハ戰闘指揮ヲ在リ

南地区區隊命令

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

一、在本部所屬久松隊區隊ハ本朝來報山島ニ對空警戒戰中
敵機來襲ヲ以テ、損害官ヲ受ケタルモノ、如シ

二、地区區隊ハ速ニ一部兵力ヲ派スルニ及ビ、救護ニ任セレン

トス

三四、五、六、七、省略略

甲隊命令

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

一、本朝來報拘ニ對空警戒セル敵機ハ、南近海ニ在ルモノ、如ク狀
況ハ、推察ハ豫斷ヲ許サズ

二、中隊ハ對空警戒戰闘準備及ヒ機動ノ準備ヲ速

ニ完備ス、準備完了セル一部隊兵ヲ除キ、警備休養

受領
第五五號
第一七號

下達

甲隊命令
第一四號

一月三日晴	<p>ラ以テ被テテセトス</p> <p>三、警備兵其ノ間トシテ八山田曹長ヲ以テ細部ヲ指示セシム</p> <p>四、余ハ胡屋中隊本部ニ在リ</p>
胡屋	<p>一、佐久川ニ第三大隊長ヲ訪テ事務連絡路確保路秋奈小隊ノ陣地指導ヲナス</p> <p>二、一六、一〇電ヲ訪テ以テ本部町中隊後援者ト連絡シ中隊員被害状況ヲ聞合セシテ廣生死不明者三名(佐藤上等兵保坂上等兵角田二等兵)ノ報ニ接ス</p> <p>三、陣地構築作業續行セシム 作業第三十二日</p> <p>一、南地區隊司令部 一、二、三、四、一〇、一〇</p> <p>一、地區隊ノ對戰車築城及七爆藥架戰闘ニ関スル普及教育ヲ實施シ以テ地區隊教育訓練及戰力ノ劃期的向上ヲ期セシトス</p>
受領	<p>一、二、三、三、四、一〇、一〇</p>

陸軍

受領	<p>一、二、三、三、四、一〇、一〇</p>
受領	<p>一、地區隊八列車ニヨリ桑江ニ前送セリ陣地構築並ニ按息施設用資材ヲ運ニ各隊担任陣地内ニ招致セシトス</p> <p>二、三四、少省略</p> <p>一、二、三、三、四、一〇、一〇</p>
一月三日晴	<p>一、八五山田曹長ヲ以テ在本部町中隊後援者ノ被害状況ノ視察調査ヲ爲サ本部町ニ出張セシム</p> <p>二、一六、一〇下士官以上ノ全員悉ク米國兵學校ニ於テハ其戰車ノ築城及七爆藥架戰闘普及教育ニ參加セシム 一六、一〇終リ了歸隊ス</p> <p>三、陣地構築作業續行セシム 作業第三十四日</p>

受領

櫻井五郎
第二〇號

獨立混成第五聯隊命令 第一二四、一二三〇

一 藤岡大彦山元ヲ以テ豫備物件ヲ新中備地區輸送ス

二 藤本中尉ハ豫備物件ヲ輸送スルニ當リ、為在漢ノ地豫備人員ノ一時

松井中尉ヲ指揮下ニ服務セシムベシ

獨立混成第五聯隊日命令 第一二四 第二〇號

受領

櫻井五百命
第一四二號

一 省 略

二 陸軍准尉 湯原 清

同 土 柳 藤一

陸軍中長 塚越 經輝

同 山田 次郎

右本二十四日事務連絡為一泊豫定ヲ以テ本都町ニ出立命令ス

一月二十五日

胡 屋

一 〇八〇〇藤本上等兵ヲ以テ知花ニ於テ松材四十本中三十三本受領セシム

陸軍

二 一〇〇〇指揮班陣地構築作業指導ス 楠本目ヲ指揮班

捕火選定ノ為、岡田軍曹土隊軍曹小野軍曹ヲ随行シ

位置ヲ決定ス

三 一八〇〇中隊全員胡屋俱樂部前集合セシメ小隊隊行

方不明者三名ニツキ在不都町中隊後發班小隊軍曹ヨリ、詳

細ナル通報ヲ發表シ、後三名ニ對シテ懸待ヲ命ズ、捕戰時下ニ

於テハ軍人抱非ヲ認明シ前者ノ懸ヲ踏ミテハ標ヲ注意シ

要ス

四 陣地構築作業ヲ随行セシム 作業第三十五日目

五 本都町命令 第一〇〇

水

胡 屋

一 〇〇〇藤本上等兵ヲ以テ移駐ノ内命ニ據ス

二 一四〇〇藤本上等兵ヲ以テ二四〇〇海軍ヲ腹滿甚クシテ受診ノ

結果、由來空想炎癰ヲ直ニニ創石不衛生上等兵ヲ以テ附添シ

<p>受領</p>	<p>人事會場部、野原隊へ入隊セシム 即時手術ヲ會場ニ經過ス 好シク 撫看後附浴者トシテ 權田二等其ノ差出ス 三 午後ヨリ 陣地構築作業ヲ中止セシム 四 一四〇〇ヨリ 隊長會同ニ出席 二十日、本部所ニ於テ 殘留者 被害状況ノ説明及ヒ 移駐ノ内命指示ヲ受領ス 五 一八〇〇下士官以上幹部ヲ集合シ 會同事項ノ傳達指示ヲ 與フ</p>
<p>受領</p>	<p>獨立混成第二五聯隊命令 一、二六、〇九、〇〇 長 袋</p>
<p>受領</p>	<p>獨立混成第二五聯隊命令 一、二六、〇九、〇〇 長 袋</p>
<p>受領</p>	<p>聯隊ノ情報ヲニ鑑ミ、渡久地ニ殘置セル 彈藥、糧秣、資材等ヲ 速急ニ守備地内ニ招致セントス</p>

<p>受領</p>	<p>獨立混成第二五聯隊命令 一、二六、〇九、〇〇 長 袋</p>
<p>受領</p>	<p>獨立混成第二五聯隊命令 一、二六、〇九、〇〇 長 袋</p>
<p>受領</p>	<p>獨立混成第二五聯隊命令 一、二六、〇九、〇〇 長 袋</p>
<p>一 各隊ノ資材、藥管、材料ヲ除キ、現ニ本部所附近ニ殘置セル資材ヲ 荷馬車ニ依リ、成ルニテ速ニ守備地ニ招致スベシ</p>	<p>三 少省 略</p>
<p>四 筑城、築管、材料ハ一時現位置ニ整備、集積シ在渡久地部 隊ニ集積シ、依頼シ時機ヲ見テ守備地ニ招致ス</p>	<p>五 在渡久地殘留部隊ノ荷物ト共ニ原所屬ニ復歸スベシ</p>
<p>六 對渡久地ノ渡久地ニ在リテ別命アル迄 前任務ヲ續行スベシ</p>	<p>七 少省 略</p>
<p>一 軍人トシテ、遺棄シ、轉送ヲ要セス</p>	<p>二 聯隊ノ遺留品、四連隊命令等ニ基キ、所屬ノ兵力ヲ派遣シ 軍事情報ヲ掌握シ、下ニ照會セラストス</p>
<p>三 四 少省 略</p>	<p>獨立混成第二五聯隊命令 一、二六、〇九、〇〇 長 袋</p>

陸軍第五軍令
第一〇三號

一、二、三、全大省略

受領

獨立混成第五師團日命令

一、二六

陸軍第五軍令
第一〇三號

一、省略

二月五日

如屋

一、〇八〇枚原少尉、飯原衛士上等兵、三上藤幸上等兵、其手続後、
経過ヲ見廻ラシムル為、上草舎場野戦病院ニ移カシム
二、陣地構築ヲ停止セシメ、環境ヲ整理、移駐ヲ許準備ヲ
ナサシム

三、本週週番其勤務左留者ヲ服務セシム

週番士官 陸軍軍曹 岡田 好雄

獨立混成第五師團命令 一、二七、〇八〇

陸軍第五軍令
第一〇四號

受領

一、聯隊人現配置ノ一部ヲ変更セントス

二、第三大隊ハ嚴シク企圖ヲ被シ、立力及ヒ陣地ヲ確保シ、資材ヲ

逐次如屋附近ニ推進シ、近來國民學校附近ニ分散未結シ、願

陸軍

受領

後行動ヲ準備スベシ、集結完了ハ二月三日天晴前トス

三、四、五、省略

獨立混成第五師團命令

一、二七、二七〇

陸軍第五軍令
第一〇五號

一、軍八中隊本部長ヲテ、兵力配置ヲ一部變更ス

旅團ハ二月一日ハ、迄ニ新移駐地ニ移行シ、新任務ヲ継承ス

二、聯隊ハ駐地ヲ新移駐地ニ派遣シ、陣地構築ヲ實施セントス

三、各大隊隊長ハ明子八〇九〇〇聯隊本部ヲ集合スベシ

如部ニ關シテハ別ニ指示ス

四、八〇九〇〇高宮原新移駐地ニ到ル

一月二十日

如屋

一、〇八〇〇聯隊駐地構築ニ在、高宮原本部ヲニ集合偵察
二、聯隊ニ、〇八〇〇聯隊ス
一、午着申、築城用資材、陣地ヲ、搬送セシメ、一、〇八〇〇ヲ休
養、即座半數ヲ外出セシム

撤収

<p>三、七、〇部隊本部より去る二十日、空襲ヨリ生衣不明ナリシ 中隊後、隊員自他隊隊上生衣死傷下ナリ、遺棄せらる大塚ノ下ヲ 発見見方トノ通報ニ接ス</p>	<p>受 領 總務課長日令 第一四四號</p>	<p>一、二、省 略 三、八 案</p>	<p>三、明二十九日部隊臨時保管馬ノ取扱ヲ旨書ス</p>	<p>依り左ノ通り心得ヤシ</p>	<p>各分隊隊員職工務兵全員明二十九日八時胡屋跡鐵工場ニ集出シ 山田隊長部員見習士官ノ指示ヲ受ケケムベシ</p>	<p>五、改裝區分</p>	<p>二十八日午前 聯隊本部各機立中隊</p>	<p>同 午後 第一、三、三各大隊</p>
---	---	---------------------------------	------------------------------	-------------------	---	---------------	-------------------------	-----------------------

<p>一月二十九日 胡 屋</p>	<p>一、〇八、〇小野軍中ヲシテ新移駐地ニ於テハ其管轄ニ為シ部隊副官 ノ指揮下ニ入ラシメテ生衣ヲセシム</p>	<p>二、〇九、〇故陣軍上等兵但坂光治ニ對シテ五科下士官任官候補者 名簿及取積機名書作成部隊本部ニ提出セシム</p>	<p>三、〇九、〇胡屋ノ地方馬場ニ徵發馬車及種馬馬車將校下ニ對シ ナリシヨリテ、隊員官立會ニ對シテ各隊ニ臨時配當馬 ノ運搬ヲ行フ</p>	<p>四、〇九、〇中隊ニ臨時配當馬車馬車越ヶ原越ヶ原越ヶ原 ノ三機立隊ヲシテ</p>	<p>五、〇九、〇中隊ニ臨時配當馬車馬車越ヶ原越ヶ原越ヶ原 機立隊ヲシテ</p>	<p>六、〇九、〇中隊ニ臨時配當馬車馬車越ヶ原越ヶ原越ヶ原 機立隊ヲシテ</p>	<p>七、〇九、〇中隊ニ臨時配當馬車馬車越ヶ原越ヶ原越ヶ原 機立隊ヲシテ</p>
------------------------------	--	---	--	---	---	---	---

三
五
六

受領

第二八號

三
五
六

三、移駐為旅團より配屬セラレタル自動貨車ヲ明三十日ヨリ二月三日迄左ノ如ク配屬ス

各大隊 各々一 本部獨立中隊 二

四 本部各隊ハ其處津邊等處重要資材ヲ前項自動貨車ニヨリ速次前送シ其後他ノ資材ハ自隊ヨリ獲得セル荷馬車ヲ以テ成ルベク速ニ前送スル如ク區處ハズシテ獨立中隊ハ本部ヨリ荷馬車約三十輛ヲ配屬ス

獨立混成第五聯隊命令 一三九二四〇〇

一 軍入防衛部署ヲ一部ヲ變更ス

旅團ハ二月一日夕迄ニ知念半島方面ニ轉移シ新防衛作戰地域ノ防衛ニ任ズルト共ニ同方面ニ於ケル第六十三師團ノ作戰準備ヲ継承實施ス

二 聯隊ハ現防衛ノ任務ヲ第六十三師團ニ移讓シ極力企圖ヲ松匿シ夜間機動ニヨリ新防衛作戰地域ニ轉移セントス

(納谷 京)

陸軍

防衛部獨立轉移時機ハ二月一日ハントス

三省 隊

四 第一大隊ハ二月三日ニミコト現露營地ヲ取リ、如屋一高取津竊一嶺那原一新里一上親露營地ヲ經テ二月一日天間道ニ新移駐地ニ轉移シ防衛及作戰準備ヲ継承實施ス

第三大隊ハ二月三十一日一九三〇現露營地ヲ取リ、山内前一新里天間一首里一嶺那原一稻積ヲ經テ二月一日天間道ニ新移駐地ニ轉移シ防衛及作戰準備ヲ継承實施ス

五 聯隊本部及重要資材ハ第一大隊ニ付行ス

工兵中隊ハ如前ノ如ク第一大隊ニ付行ス

六 本部各隊ハ其處津邊等處重要資材ヲ前項自動貨車ニヨリ速次前送シ其後他ノ資材ハ自隊ヨリ獲得セル荷馬車ヲ以テ成ルベク速ニ前送スル如ク區處ハズシテ獨立中隊ハ本部ヨリ荷馬車約三十輛ヲ配屬ス

獨立混成第五聯隊命令 一三九二四〇〇

一 軍入防衛部署ヲ一部ヲ變更ス

旅團ハ二月一日夕迄ニ知念半島方面ニ轉移シ新防衛作戰地域ノ防衛ニ任ズルト共ニ同方面ニ於ケル第六十三師團ノ作戰準備ヲ継承實施ス

二 聯隊ハ現防衛ノ任務ヲ第六十三師團ニ移讓シ極力企圖ヲ松匿シ夜間機動ニヨリ新防衛作戰地域ニ轉移セントス

大隊 將校一 中隊 下士官二 兵一〇

残軍人員ハ山谷少尉指揮シテ、残務整理及資材ヲ前送在
 シタル後成見ハタテ速ニ原所属ニ追及スベシ
 七八九 省略

受領

櫻丸五作命
 第ニ九卷

獨立混成隊第十五聯隊命令 一三九三三
 第ニ九卷

一 旅團ハ喜濃ニ集積セル陣地構築用橋木ヲ軍ノ輸送船
 草丸ヨリノ那霸輸送ス

二 聯隊ハ前項輸送援助ノ爲計、兵力ヲ差出サントス

三 各隊長ハ方部人員及兵器彈藥ヲ明三ノ日〇九〇〇迄ニ旅團
 司令部ニ差出シ、松ノ下大尉指揮下ニ服務セシムベシ

左 部

差出兵力 兵器 彈藥

I 下士官以下 〇 MG 一 一五〇

II 將校以下士官以下 〇 MG 一 一五〇

III 下士官以下 〇

陸 軍

IA 兵三
 TA 兵三
 P 兵四

第一第三大隊ヨリ差出ス下士官共内ニ機關銃ヲ各々三
 ヲ合マシメテ高射重砲具ヲ携行セシムベシ

四 省略

中隊命令 一三九三五
 第ニ九卷

下 達

一 聯隊ハ前項輸送船ヲ離れ六月二日〇八〇トス

二 中隊ハ喜濃ニ五隊命令第六連ニ依リ新野駐地ニ前送セントス

三 第一小隊隊長及少尉部下小隊(指揮班ニ即中隊司令部)ニ
 隊ヲ指揮シ一月三十一日ニ〇〇〇現露野地胡屋敷夜間機動

ヲ以テ第三大隊ニ轉行山内前―普天間―百里―奥那原

稻嶺ヲ經テ新野駐地軍山ニ向ヒテ前進スベシ

一三九三三

第ニ九卷

二月廿八日

二月廿九日

乘馬一、驛馬四、馬車二ヲ附ス	四、中隊主力ハ二月一日胡屋發車直ニ依リ當山ニ前進ス、細野ハ口	速指示ス	五、陸軍軍曹廣瀬真三以下十名ハ後發トナリ山内前線發車ニ殘留シ、殘留指揮官山谷少尉ヲ指示ニ依リ中隊廣瀬留付ノ追送ニ任ジタリ後速ニ追及スベシ	六、余ハ二月一日ハ三ハ胡屋發車島尻郡土城村當山ニ至ル	一月三十日晴	胡屋	一、〇六三〇獵混三五作命第三九號ニ基キ日野上等兵以下三名ヲシテ築城用資材輸送援助ノ爲在屋宜旅團司令部ニ向ケ出發セシメ同司令部松本大尉ヲ指揮下ニ服務セシム	二、〇八〇〇昨日新ニ配當セラルタル臨時配當馬三頭ヲ胡屋築城場ニ於テ裝蹄セシム	三、二二〇〇前田任長以下四名ヲテ荷馬車六輛ヲ以テ中隊糧包類
----------------	--------------------------------	------	--	----------------------------	--------	----	--	--	-------------------------------

(附谷真・日記)

陸軍

ヲ搬送者移駐地ニ至ラシム	四、一三〇〇鈴木少尉ヲ以テ新移駐地ニ派遣シ新陣地ノ引越ニ任セシム	五、一五〇〇部隊本部ヨリ去ルニテ日空機以來國領本部可ニ於テ生死不明ナリ陸軍上等兵佐藤政太郎頭部ニ重傷銃創ヲ受テ一志體トナリテ又発見サルトノ通報ニ接ス	六、中隊全員ヲテ移駐ニ伴フ諸準備ヲナサシム	七、本日ノ命令ハ會報ナシ	二月三十日晴	胡屋	一、一〇〇〇糧包二等共善合場野新前線ニ於テ入隊患者附添中隊ハ廣瀬留付ス	二、二二〇〇行軍ヲ以テ秋原少尉以下三十九名新移駐地ニ向ケ出發セシム	三、中隊全員ヲ以テ新移駐地出發準備ヲナサシム
--------------	----------------------------------	--	-----------------------	--------------	--------	----	-------------------------------------	-----------------------------------	------------------------

受領

櫻湯五作命
第三〇號

四、二二〇中隊長陸軍中尉杉浦隆孝以下十三名自動車一輛ヲ以テ火程及彈藥ヲ搭載シ胡屋出發新橋駐地ニ向テ

獨立混成第十五聯隊命令 長 三二二二〇 隊長

一、旅團ハ關係兵團及海軍ト緊密ナル協同トシニ重点ヲ玉城村及大里村ニ保持シ敵ヲ海岸地帯ニ撃滅スルト共ニ要地ニ對シ對空機戰闘ヲ準備ス

又中城灣ヲ制壓ス

第二歩兵隊第三大隊ハ北地區隊トシテ稻福、西原、嶺井附近、西原地ヲ取固ニ占領ス

獨立速射砲中隊ハ主力ヲ以テ南地區隊主力ノ戰闘ニ協同ス

旅團砲兵隊ハ大城附近ニ陣地ヲ設備シ南地區隊主力ヲ海岸地帯ノ戰闘ニ協力ス

重砲兵隊ハ津堅島及知念半島ヨリ中城灣ヲ制壓ス

二、聯隊(欠5計屬)ハ新ニ南地區隊トシテ一部ヲ以テ知念

陸軍

半島ヲ確保シ主力ヲ以テ前川附近ヨリ玉城附近ニ進ル線ニ

堅固ナル擊滅據點ヲ構築シ主トシテ南方海面ヨリスル敵ヲ海岸地帯ニ撃滅セントス

北地區隊ノ戰闘地帯ハ

新田東北方五〇〇米三叉路——奥武城東路——エヒ川上流ノ線(線上ハ南地區隊ニ屬ス)

ハ第二十四師團ノ戰闘地帯ハ

漆川——若城——稻須西端——宜喜次東北國場川橋梁線トス(線上ハ第二十四師團ニ屬ス)

三四五七七八九 小倉路

一、聯隊砲中隊ハ各一部ヲ以テ玉城南方富里東方高地附近ニ陣地ヲ占領シ據點前方ヲ側防スルト共ニ主力ハ線狀東方ヨリ據點ヲ占領シ主トシテ二八五高地ノ據點前方ヲ側防スルト共ニ前川方向ニ突進スル敵戰車ヲ阻止スル

如く準備シ、尚垣基北方台ニ對スル敵空機部隊ニ對シ
火力ヲ指向シ得ル如ク準備スベシ

二、三、四、五、少省略

一六、第二線各隊ハ既設陣地ノ利用ニ努ムト其ニ先ツ防空部隊
ヲ次テ對戰車施設ヲ完成シ砲臺等ヲニ對シテ掃蕩ヲ行ハシ

ナラズル如ク陣地ヲ構築シ三月上旬迄ニ少クテ完成スベシ

一七、各隊ノ所在在郷軍人防衛隊其他地方警備隊ヲ速ニ戦力化シ

其員補充及補助勤務ヲ履セシム部隊ノ戦力ヲ増強スベシ

一八、予ハ王城國民學校ニ在リ、乙號戰備ト其ニ對シテ南陽隊

戰闘指揮所ニ移ル

五、本月中ニ於テハ民間側陣地構築協力状況ヲ記述ス

日	性別	男	女	計	備
二日		四	七	一一	
四日		一	六	七	

(調査員・京東)

日	男	女	計
五日	三	四	七
六日	一	六	七
八日	四	三	七
九日	七	一七	二四
十二日	一	一	二
十三日	四	一	五
十六日	五	一	六
十七日	四	二	六
二十日	二	二	四
二十一日	二	二	四
二十四日	三	二	五
二十五日	四	一七	二一
二十七日	三	二	五
二十九日	三	一四	一七

陸軍

計

四

二〇八

二五七

一日平均人数一六名

以上

